

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和2年12月27日掲載

2年1組 山口 世怜奈

「心動かされた熊本地震の話」

私が修学旅行で心を動かされたことは「震災についての話」です。この3日間で震災について学ぶ機会が何度もありました。まずは「震災に学ぶ講演会です。」震災時に救助に携わった消防士の方にお話を聞くことができました。その時の状況や震災時に大切な事などを聞くことができました。私は特に「自助」という言葉が印象に残りました。自助というのは自分が自分を守るだけでなく「助ける人」になることが大切だとおっしゃっていたので、日頃の備えや本当に起きたときに、自分も周りの人も守れるようになりたいです。

次に、旧東海大学阿蘇キャンパスです。地震前に東海大学の農業科があった場所に行きました。そこには地震が起きたときのそのままの姿の校舎や敷地が残されていました。地面が傾いていたり、机が倒れていたりしており、改めて地震の怖さを感じることができました。そして、現地ガイドの方が震災当時の話をされ、「自分は何も持たずに体一つで外に出た。命がなくなったら、備えも意味がない。」と話されていました。私はそれを聞いて、命の大切さやはかなさを改めて学ぶことができました。

私はこの修学旅行を通して、熊本地震がどのようなものだったのか、地震の怖さ、命の大切さについて学び、自分自身のことも見つめ直すことができました。